

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和3年6月定例会

議席番号8番
島 明日香議員

1. 放課後児童クラブについて

(1) 現在、定員約30名の受入のところ、日によっては定員オーバーで受入を行っていること、またすでに夏休みの募集が開始し50人弱の希望者がいることを踏まえ、利用する側も支援する側も安心安全な利用に限界がきていると考える。

- ①現在の静養室は、改善する必要があると考えるがその意向はあるか。
- ②体育館の窓（ギャラリーの方）の網戸装着の考えはあるか。
- ③夏に向けて、現在使用中の運動スペース（体育館、グラウンド）以外の活動スペースの確保として、例えば冷房完備の中央公民館講堂の使用の意向はあるか。

(2) 児童クラブは、条件を満たせば学年に関わらず利用可能とある。しかし現状は、放課後一人になると危険度が高い低学年（1～3年生）が利用しており、特に今現在に至っては、2年生の利用が半数を占めている状況である。
さらに、来年度入学予定の児童数は30名を越えている。

- ①来年度の児童クラブ受入体制についての考えをお聞きしたい。
- ②町内事業者が、放課後の児童の居場所として名乗りを上げた場合、町としてどのようなバックアップをされるのかお聞きしたい。

(3) 放課後児童クラブを利用している児童と、利用していない児童の体力や運動能力の差について。

- ①今回着任した地域おこし協力隊の方に、データを出して頂いて、それをもとに運動プログラムであったり、苦手な動きを克服するためのアドバイスだったり、何かしらのアプローチをしていただく余地はあると考えるがその意向はあるか。

※以前、新潟大学の学生が園児対象に春から夏にかけて体力測定を行い研究をされた経緯もあり、園児はもちろんデータや学生を通じて、保育士が園児に身体活動を促すうえでも成果はあったと伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和3年9月定例会

議席番号8番
島 明日香議員

1. 空き家対策について

総務省の見立てによると10年後の2033年には、日本の総住宅数に対して、空き家の割合は3.3軒に1軒になると予測している。宅地造成だけでなく、空き家・空き地が増加の一途を辿っていることに対しても早急な次の一手が必要と考える。

(1) 出雲崎町の現在の空き家・空き地情報バンクは、町にとって良い循環をもたらしていると、町長は思われるか。

(2) 出雲崎町に「住んでみる」を体験できる家、つまりは「移住体験型住宅」が必要と考えるが、空き家を活用して、そのような家を当町にもつくる意向はあるか。

(3) 資源を有効活用するうえでも、空き家バンクにも進化が必要だと考えるが、具体的な次の一手をお考えか。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和3年12月定例会

議席番号8番
島 明日香議員

1. デジタル改革について

スマートフォン保有率の上昇、コロナ禍における EC サイト利用率の加速も相まって、今年の9月1日にデジタル庁発足、新潟県でも「デジタル改革実行本部」が発足し、息つく間もなく今後もデジタル社会は発展し続けます。

2030年には、高齢者世代でもスマートフォンを使いこなし、ECサイトの選択肢や宅配の便利さが高まることにより、使いやすさが各段に向上し、多くの人にとって日常的な取引になっていくことが予測されます。

(1) 当町にも「デジタル変革戦略室」の創設をつくる考えはあるか。

「高齢の方が多いから“インターネット”を受入る人が少ないから」進まないとか、小出しの政策にするようなことは通用しない世界がすぐそこまできているので、抜本的な変革が必要な時がきている。

① デジタル社会に向け、(町民はもちろんだが) 町内企業に対する施策はあるか。また、町内企業や店舗側からデジタル社会に向けての要望や提案の有無、受入体制は整っているか。

② 町内企業や店舗等に対してホームページ作成やキャッシュレス決済に対応する機械の導入等に関して費用や人材に対する助成の考えはあるか。

③ デジタル変革に向けた役場職員に対する施策は考えられているか。

④ 役場の仕事として、町内の商品や製品をドロップ SHIPPINGで販売するなど、出雲崎町の特産品等の販路拡大や知名度拡大に貢献する考えはないか。